

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
 支援センターささゆり放課後等デイサービス自己評価表(事業所)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	6	1	利用定員と活動部屋との関係は基準を満たし適切です。ただし、新型コロナウイルス感染症対策により活動場所を分けて対応していることから、利用人数によっては手狭な時がありました。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	1	0	人員配置基準以上の専門職を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1	0	借用している学校内の設備は概ねバリアフリーとなっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	3	0	児童発達支援管理責任者が中心となって目標を設定し、事前のミーティングや日々振り返りをしながらPDCAサイクルが確立できるよう努めています。臨時職員とは細部まで行っていないこともありました。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	3	0	保護者の皆様からいただいた評価につきましては、職員で検討し、必要に応じて業務の改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	0	自己評価については法人のホームページに掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	7	2	第三者評価は実施していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	外部講師を招き事業所内での研修会を実施し、外部の研修会には新型コロナウイルス感染症の対策としてオンラインでの参加をしています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	2	0	ご家族との個別面談、学校等関係機関との情報交換、連携を取りながら計画を作成することを必須としています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	8	1	標準化されたものは使用していません。子どもの状態に合わせたツール(絵カードや写真)を使用していますが、ツールの種類を増やす必要があると感じています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	3	0	月1回の評価会議において職員の意見集約し、担当者が日々の活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	0	発達段階や、年齢別にプログラムを作成するなどの工夫をし、マンネリ化しないようにしています。新型コロナウイルス感染症の対策で屋外での活動が少なくなっています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2	0	平日、学校代休日、長期休暇それぞれの時間の長短に合わせた活動を計画しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	全員で取り組む集団活動、課題別にした小グループでの活動、個別の活動と三つの活動を組み合わせた計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1	0	平日は事業開始前のミーティングで当日の計画を立案した職員が内容や役割等を周知しています。学校休業日は事前に打合わせ時間を設けることが難しいため、紙面での確認を主としています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	5	平日は当日の業務終了時間が遅いため、翌日の午前中に前日の支援等について振り返る時間を設けています。学校休業日は、終了後の振り返り等が難しいため、引継ぎノートを活用し、全職員が情報を共有するよう努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	3	0	日々の行動だけを記録するのではなく、個別支援計画に基づいた支援がなされているか、記録のあり方について注意をすよう心がけています。その中で支援の改善点等があればすぐに話し合いをし、次へ活かせるようにしています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	3	0	毎月評価会議を開催し、個別支援計画の進捗状況について話し合い、必要に応じて計画の見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	6	2	全職員にガイドラインを配布し周知していますが、基本活動を複数組み合わせでの支援が不十分に感じる時があります。今後の課題として検討したいと思います。	

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
 支援センターささゆり放課後等デイサービス自己評価表(事業所)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	3	0	児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	1	0	事業場所として借用している学校とは定期的に連絡会を設け、予定等を確認しています。また、子どもたちが所属する学校とは必要に応じて随時連絡調整をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	6	0	保護者を通じて連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	7	0	保護者の同意を得て保育園等へ訪問し、情報共有、相互理解できるように努めています。また、必要に応じて相談支援専門員が同行し、情報を共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	2	0	保護者から同意を得たうえで、情報の提供をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	7	1	今年度は実施していません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	10	機会を設けていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	3	0	児童発達支援管理責任者が自立支援協議会こども部会に出席しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2	0	日頃の様子については送迎時に伝えるようにしていますが、家庭の状況に応じて電話やメールで連絡する場合があります。子どもの発達や課題など詳細な事柄については主に個別面談時に話し合っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	7	2	保護者の対応力向上を図る観点までとは言えませんが、子どもとの接し方などについては、親子の関係性を見極めながら必要に応じて助言をしています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	3	0	基本的には契約時に説明しています。支援内容や利用者負担等に変更があれば、その都度説明をし、必要に応じて紙面も配布しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	3	2	保護者からの相談については適時対応しています。場合によっては関係機関と連携し対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	0	父母会等を設立する予定はありません。保護者全体の集まりは年1回の保護者会の開催です。今年度より保護者同士が連携し、気軽に話し合いができることを目的として、2ヶ月に1回「子育て広場」を開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3	0	契約時に法人の苦情解決の受付等について説明しています。今年度は苦情等の受付はありませんでしたが、個別面談時において、日頃の支援や事業運営に対しての意見、要望等をいただくよう心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3	2	年1回広報誌を発行しています。行事の案内、連絡事項等については文書を配布しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	10	0	0	個人情報の取り扱いについては契約時に説明をし、同意書いただいています。同意書以外の取り扱いについては守秘義務を徹底し、十分注意するよう職員へ周知しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	意思疎通が困難な子どもにはコミュニケーションツールを使用するなど可能な範囲で情報を伝達するよう配慮しています。保護者には送迎時、面談時、相談があれば必要に応じて面談するなど、意思の疎通や情報の伝達が十分できるよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	2	学校を借用しているため地域住民を招待する行事等の実施は難しいと思いますが、可能な範囲での交流方法を検討したいと思います。

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
 支援センターささゆり放課後等デイサービス自己評価表(事業所)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4	3	保護者への周知が不十分なマニュアルもありますので改善します。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	8	1	感染対策等もあり訓練の実施は不十分でした。次年度以降改善をしていきます。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	虐待防止に関する研修会を実施しています。職員自身がセルフチェックを行い、虐待に対しての正しい知識と対応ができるようにしています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	4	1	身体拘束を対象とする子どもはいませんが、身体拘束については委員会において組織的に決定し、子ども、保護者へ説明できるようにします。なお、支援するにあたり、個別での対応を必要とする子どもの保護者には事前に説明し、個別支援計画に記載するようにしています。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	9	0	保護者からの確認、もしくは保護者を通じて医師の指示書をもっています。アレルギーの有無について職員間で情報共有が不十分であることがわかりましたので、情報共有について周知、徹底しました。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	事例集は作成していませんが、報告書は作成し、ミーティングでの報告などで情報を共有しています。